

No. KC121212-1

医療機器製造販売届出番号 25B1X00002000733

* 2022 年 06 月改訂（第 4 版）

2015 年 11 月改訂（第 3 版）（新記載要領に基づく改訂）

一般医療機器 類別：器 58 整形用機械器具

一般的名称： 脊椎手術用器械 70963001

販売名：Associa 器具セットーA

【警告】

- ・ 本品は、未滅菌である為、使用前には必ず適切な方法で滅菌してから使用すること。

【形状・構造及び原理等】

本品は、Associa スパイナルシステム（医療機器製造販売承認番号：22400BZX00080000）専用の手術器械である。

・ 製品外観

トルクリミッティング ハンドル(7Nm)	
スクエアオウル	
ストレートプローベ	
カーブドプローベ	
ストレートサウンダー	
カーブドサウンダー	
I 型ラチェットハンド ル(中空)	
フレンチロッドベン ダー	
ロッドホルダー	
ロッドプッシャー	

ラージコンプレッサ ー	
ラージディストラク ター	
トルクリミッティング ハンドル(10Nm)	
テーブルロッドカッ ター	
パーム型ラチェット ハンドル	
T 型ラチェットハンド ル	
パワーグリップ	

・ 材質：ステンレス鋼、アルミニウム合金、シリコン、フッ素ゴム

・ 原理：

本製品を用いて適応するインプラント設置用の処置を行う。

【使用目的又は効果】

- ・ 本品は、再使用可能な手術器械であり、脊椎固定術等の脊椎手術を行うために用いる。

【使用方法等】

1. 使用方法

- ・ 本品を用いて適応するインプラントの設置等を行う。詳細は使用するインプラントの手技書を参照すること。

2. 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) 本品は未滅菌である為、使用前に必ず適切な方法で滅菌してから使用すること。（【保守・点検に係る事項】の項参照）
- 2) 折損、曲り等の原因になり得るので、使用時に必要以上の力を加えないこと。

- 3) 使用後は直ちに点検し、破損、折損等が見つかった場合は破損片が体内に遺残していないか調べ、遺残していた場合は摘出等適切な処置を施すこと。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
 - 1) 当該器械に表示のトルク値は、併用する機器の取付け状態や機器の状況等により表示の効果が得られない場合がある。
表示値はあくまでも参考値として扱い、適応する設置状況を優先して使用すること。
 - 2) 鋭利部分及び可動部は特に、取り扱い、洗浄・滅菌方法、保存状態により、腐食、損傷、破損、掻き傷などが生じるおそれがあるので注意すること。又、異常が見られる状態（可動不具合、ひび若しくは曲がった）では使用しないこと。（返却の上点検のこと）
 - 3) 電気メスをを用いた接触凝固は、術者が感電、火傷する危険性があり、又、器械の表面を損傷するので、本品とともに電気メスの使用はしないこと。
 - * 4) 本品がハイスリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。
 - * 5) 本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。
2. 相互作用
 - ・併用禁忌（併用しないこと）
弊社が指定した製品以外との併用はしないこと。〔設計・開発方針が異なるため、適合しない恐れがある。〕
3. 不具合・有害事象
本品の使用により以下のような不具合・有害事象が発生する可能性がある。不具合・有害事象が発生した場合は使用を中止し、適切な処置を行うこと。
 - 1) 重大な不具合
 - ・本品の変形、折損、及び破損
 - 2) 重大な有害事象
 - ・不十分な滅菌による感染症
 - ・軟部組織の損傷
 - ・骨の亀裂、穿孔、骨折、短縮、壊死
 - ・血管損傷
 - ・偽関節・遷延癒合・骨癒合不全
 - ・本品の折損による体内遺残
 - ・アレルギー反応
 - 3) その他の有害事象
 - ・痛み・不快・違和感
 - ・本品の破損、或いは機能不全による手術時間の延長
 - ・本品の破損、或いは誤使用による手術従事者の受傷
4. 高齢者への使用
高齢者は、骨が骨粗鬆症化している場合があり、術中に過度の力を加えることにより骨折したり、インプラント埋植後に緩み等が起きる可能性があるため、慎重に使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

- ・保管方法
水濡れ、直射日光、高温、多湿を避けて保管すること。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用後の処理（洗浄）
 - 1) 本品使用後は、出来るだけ早く洗浄、すすぎ等の汚染除去を行い、血液等異物が付着していないことを確認したのち、操作方法又は使用方法欄に示す適切な方法で滅菌を行い保管すること。（特に可動部の汚染物除去は異物が残りやすい為、注意すること。）

- 2) 汚染物除去に用いる洗剤は、医療用中性洗剤等、洗浄方法に適したものを選択し、適正な濃度で使用する。
- 3) 本品使用前に、きず、割れ、有害なまくれ、さび、ひび割れ、接合不良等の不具合がないか、外観検査を実施すること。
- 4) 洗浄装置（超音波洗浄装置等）を使用するときには、鋭利部同士が接触して損傷することがないように注意すること。
- 5) 超音波洗浄装置等を使用するときには、洗浄時間、手順等は使用する装置の取り扱い説明書を遵守し、器具の隙間部等に異物などがいないことが確認できるまで洗浄すること。
- 6) 洗浄後は腐食防止のために直ちに乾燥すること。
- 7) 洗浄乾燥後、可動部の動きをスムーズにし、摩耗、かじりを防止するために、可動部に医用の水溶性潤滑剤を使用することを推奨する。水溶性潤滑剤の使用については、使用する潤滑剤の使用説明書等を参照すること。
- 8) 強アルカリ／強酸性洗剤・消毒剤は器具を腐食させる恐れがあるので、使用を避けること。洗浄にはやわらかいブラシ等を使用し、金属性たわし、クレンザー（磨き粉）は器具の表面が損傷するので汚染除去及び洗浄時の使用はしないこと。

2. 使用前の処理（日常点検及び滅菌）

- 1) 使用前及び日常点検により、器具が正常に作動することを確認すること。
- 2) キズ、割れ、有害なまくれ、さび、ひび割れ、接合不良等の不具合がないか、外観検査や可動確認等を実施すること。
- 3) 可動状態及び、磨耗等による形状変化など、本来の機能が発揮されない状態では、交換が必要になるので注意すること。
- 4) 下記条件又は、 10^{-6} 以下の無菌性保証水準が得られる条件で滅菌を行うこと。

（推奨滅菌条件：高圧蒸気滅菌の場合）

温度	時間
115～118℃	30 分間
121～124℃	15 分間
126～129℃	10 分間

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〔製造販売業者〕
株式会社オーミック
電話番号 077-554-1871